

(報道資料)

映画化記念「ご家庭のヘルスマーター下取りキャンペーン」を実施 不要のヘルスマーター持ち込みで、最新体組成計が3000円引きに

2013年5月9日

株式会社タニタ

健康をはかるリーディングカンパニーである株式会社タニタ（東京都板橋区前野町1-14-2、社長・谷田千里）は、5月15日（水）から5月19日（日）までの5日間、東京・丸の内内の「丸ビル」（東京都千代田区丸の内2-4-1）での「映画公開イベント」タニタブースで、「ご家庭のヘルスマーター下取りキャンペーン」を実施します。映画「体脂肪計タニタの社員食堂」（角川シネマ有楽町ほか全国の劇場で5月25日公開）の公開を記念したキャンペーンで、ご家庭で不要になった他社商品も含む体重計・体脂肪計・体組成計を会場に持ち込むと、体組成計インナースキャン「BC-250」をはじめとしたタニタの最新体組成計を3000円引きで購入することができます（下取りの対象は体組成計を含む1万円以上ご購入の場合となります）。また、会場では商品コンシェルジュが体組成計の設定や使い方をアドバイスするサポートも行います。場所は、同ビル1Fマルキューブ「映画公開イベント会場」タニタブース。時間は11時から19時まで。

タニタは1994年に乗るだけで体脂肪率がはかれる世界初の家庭用体脂肪計を、2003年に筋肉量など詳細なからだの情報を計測できる体組成計を発売しました。以来、体脂肪計・体組成計のパイオニアとして、高精度・高機能なさまざまな商品を提供してきました。近年では、計測精度の向上はもちろん、乗るだけで自動的に電源が入り、測定者を自動で認識する「乗るピタ」機能を搭載し、使い勝手を高めた商品もラインアップしています。本キャンペーンは、映画の公開をきっかけに、こうした最新の機種の実用性を多くのお客様に体感していただくことが狙いです。

また、体脂肪計・体組成計は、生体に微弱な電流を流し、その通りにくさ（電気抵抗値）をはかり、医療機関などで使われるさまざまな機器を使って計測した膨大な量の身体情報から導き出された推定式に当てはめて体脂肪率などを算出する「生体インピーダンス法」という技術を使用しています。しかし昨今、この技術を用いた体脂肪計・体組成計とわわられている商品の中には、電流を流す仕組みがなかったり、推定式に電気抵抗値が適切に反映されていない状態で体脂肪率などの計測結果を算出していたりするものが市場に流通していることが、弊社の調査で明らかになりました。これらの商品は、計測結果が信頼できないばかりか、お客様が何らかの健康管理に関わる取り組みをなされた場合、健康を害



する恐れがあることも否認しません。今回の下取りキャンペーンでは、古くなり、機能面で陳腐化してしまった商品だけでなく、こうした体脂肪計・体組成計としては不相当と考えられる商品から、タニタの最新体組成計への買い替えを促進していくことで、お客様のより良い健康管理をサポートしていきたいと考えています。

下取りの対象となり3000円引きで購入することができる体組成計は、部位別体組成計インナーキャン50V「BC-622」、体組成計インナーキャン「BC-250」、体組成計「BC-717」の3機種（「BC-717」は1万円未満の商品のため、当日会場で販売するタニタ商品と合わせて1万円以上のご購入が条件となります）。会場には、タニタ商品とこれらを活用した健康管理に精通したコンシェルジュが常駐し、高齢のお客様が苦手とする初期設定などをお手伝いするほか、体組成計で計測するタイミングや使いこなすコツなどを分かりやすくアドバイスします。タニタでは本キャンペーンを通じて、体組成計を使ったからだの「見える化」による健康管理の啓蒙と、高精度・高機能な最新体組成計の訴求を図っていきたいと考えています。

報道資料に記載されている情報は発表日現在のものです。このため、時間の経過あるいは後発的なさまざまな事象によって、内容が予告なしに変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。